

オープン法

手術用手袋二重装着手順マニュアル


1 →
滅菌ガウンを着用する。
指先はガウンの袖口から出してよい。





2 →
二重手袋の内側となるindicator手袋(青色や緑色)の包装を開く。
包装紙の端を数センチ外側に折っておくと、包装紙が自然に閉じることなく操作が行える。



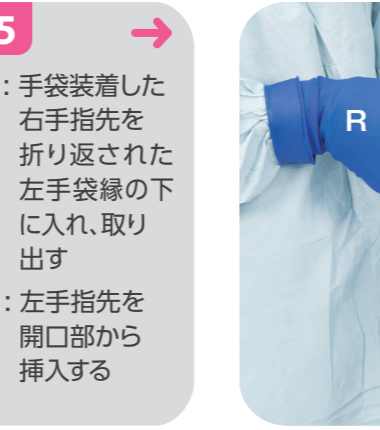

3 →
左手で右手袋の開口部反転部を把持し、右手指先を手袋内に挿入する。
露出した手指は手袋内面からのみで操作を行う。



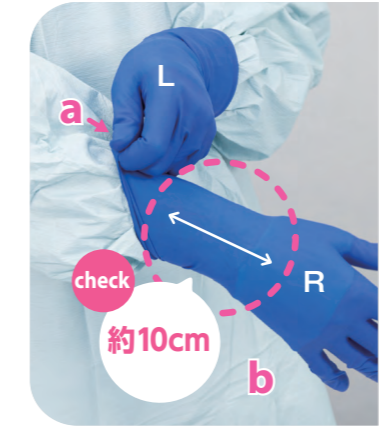
4 →
ガウン袖口まで手袋で覆うが、反転部は伸ばすことなく折りたたまれた形にとどめる(手袋装着前の左手指先が右手袋外側に触れ、汚染することを防ぐため)。



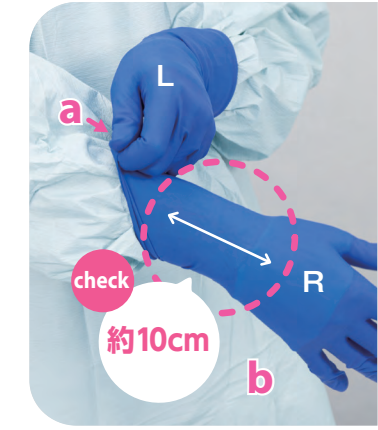

5 →
a: 手袋装着した右手指先を折り返された左手袋縁の下に入れ、取り出す
b: 左手指先を開口部から挿入する



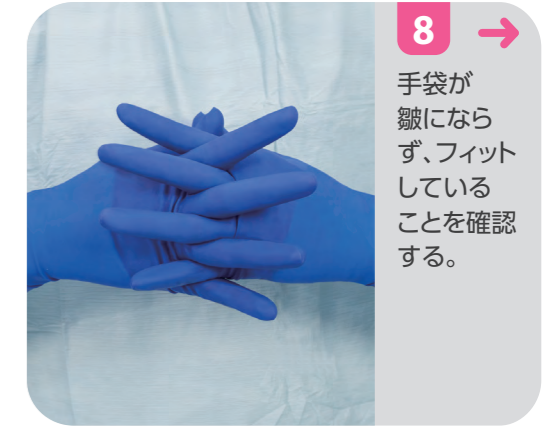
6 →
手袋の縁を右手指先で把持し、ガウンの袖口を覆う位置まで引き延ばす。

7 →
a: 反転されたままになっている右手袋の縁を、手袋装着した左手で把持し
b: ガウン袖口より約10cm長く被覆する位置まで引き延ばす(左手側も十分被覆されていることを確認)



8 →
手袋が皺にならず、フィットしていることを確認する。




9 →
外側となる OUTER手袋の包装紙を開く。



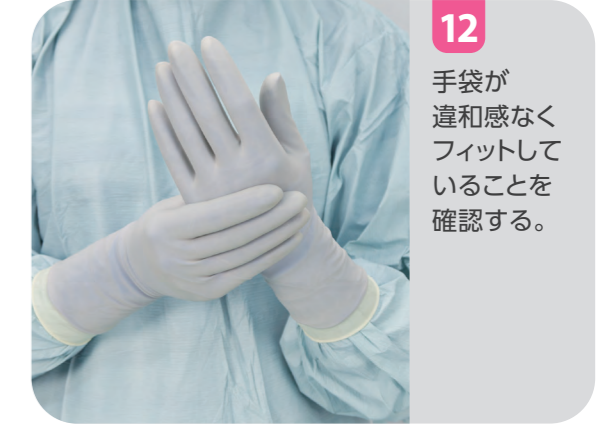
10 →
手袋を取り、手袋開口部を引き延ばしながら、左右指先まで装着する。



11 →
手袋の巻き戻りや滑り落ちを防ぐため、 OUTER手袋は INNER手袋より約2.5cm延長させた位置まで引き延ばす(INNER手袋への血液などの曝露を防ぐため、この確認は必ず行う)。



12 →
手袋が違和感なくフィットしていることを確認する。



手術中に破損した手袋の交換方法



1 →
 OUTER手袋の開口部をつかみ、表裏が逆になるように反転させながら外す。外した OUTER手袋は廃棄する。



2 →
 滅菌済みのクロスやペーパータオルで INNER手袋に付着した血液などを完全にふきとる。



3 →
 INNER手袋に破損などの異常がないかを確認する。
 ● INNER手袋に破損がない場合は、そのまま INNER手袋の上に新しい OUTER手袋を装着する。
 ● INNER手袋に異常がある場合は、INNER手袋も廃棄し、手指消毒を行った後、新たに手袋を二重に装着する。
 (手袋に破損がない場合でも、手術が長時間に及ぶ場合には定期的に交換する。)